

連載⑤ 医者も知らない 平穏死



〈長尾和宏〉
クニタニニッパ
理事平条
長尾クリニ
院長。日本副
死協。会書に『
長協。著書10の
死。死』10の
穏件」など。

病院の「地域連携室」を利用したことがありませんか？「よろず相談室」という名前のところもあります。

たいていの病院にあり、医療ソーシャルワーカーなど何人かの相談員が働いています。スタッフは少ないところで2〜3人、多い病院ではなんと50人以上。ちなみに、当院では数人のスタッフが働いています。

「地域連携室」を上手に利用

直接聞けないことも、医療ソーシャルワーカーなどを通じて相談することが出来ます。

たとえば、地域の開業医の性格、特徴など、どちら申請しないと制度の恩恵を受けられないものもな口コミ情報を聞くことができるのです。「在宅医療の主治医を探している」「心臓手術の後のフォローをしてくれる開業医はいないかな」というような、かかりつけ医探し、の時には、大いに役立ちます。

医療費、身体障害者制
度、難病の制度などの相談にも乗ってくれますよ。医療制度は、手続きが複雑なものもあり、自己がどのくらい減り大変だった」と聞いたことがあります。もし地域連携室で相談していたら、違った展開だったかもしれない。ちなみに、地域連携室の始まりは、私の地元、尼崎市から。県立尼崎病院の中に、尼崎市医師会の職員が常駐したのが最初だそうです。



(写真はイメージ)